

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
文化芸術論 I～IV	各学科長 他	2単位	両学科 全学年	特例として 通年15回とする	講義・演習
授業の概要	自らの将来像を描き、それを実現するためのキャリア支援講座であると同時に、公演や講座、定期演奏会などの芸術体験を含む総合講座である。				
到達目標	① 数多くの芸術作品を鑑賞することを通して、感受したことや気づいたことを自分の学びに活かして自己研鑽の一助とする。 ② 一流の芸術家、社会で活躍している先輩、企業人等の生き方から、自分の将来像を見直し、キャリアアップや進路選択に生かす。				
テーマ・講義内容					
1年間を通じて15回で実施する。基本的に水曜日の5限目とする。 日程は掲示で知らせる。平成23年度に「文化芸術論」の単位を取得した者は、24年度は「文化芸術論Ⅱ」、25年度は「文化芸術論Ⅲ」、26年度は「文化芸術論Ⅳ」とする。 取得していない者および1年次生は「文化芸術論Ⅰ」とする。 文化芸術論の詳細な内容については、4月に行う「文化芸術論ガイダンス」において、年間プログラムを配布し説明する。					
評価方法	毎回ミニレポートを課す。鑑賞と出演の状況とミニレポートにより評価する。 全学生出席の講座は対象講座総数の2/3以上、学科・コース選択講座は2講座以上の鑑賞・出演が必要である。				
使用テキスト	必要に応じて当日配布する。				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
文学Ⅰ	佐々木 隆一郎	2単位	両学科 1年次	前期	講義
授業の概要	日本人の心の故郷（ふるさと）である古典文学を身近に感じ楽しむ。 日記文学の最初の作品である「土佐日記」を、口語訳付きで講読鑑賞する。				
到達目標	古典は難しいもの、分からないものではなく、古典は懐かしいものであり、感情も共有できるものである。即ち、昔の人も今の自分たちも何ら変わらない喜怒哀楽の情と悩みを抱く生身の人間であることを思い知り、古典文学への親近感を深める。				
テーマ・講義内容					
1. 「土佐日記」と紀貫之について（概観・解説）			9. 「ちふりの神様」～		
2. 「女の私も書いてやる」～			10. 「海賊を振り切って」～		
3. 「帰らぬ人を偲びつつ」～			11. 「忘れ貝に託して」～		
4. 「お返しも楽じゃない」～			12. 「神の御心のままに」～		
5. 「水の中の月」～			13. 「物々交換の損得」～		
6. 「夜更けの舟唄」～			14. ～「荒れたる宿・荒れたる心」（入京）		
7. 「はや二十五日」～			15. まとめ		
8. 「ムーンライト」～					
評価方法	総合的に評価（整理考査60%、受講状況・課題提出等40%）				
使用テキスト	ビギナーズ・クラシックス「土佐日記（全）」西山秀人編・角川学芸出版				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
文学Ⅱ	佐々木 隆一郎	2単位	両学科 1年次	後期	講義
授業の概要	日本人の心の故郷（ふるさと）である古典文学を身近に感じ楽しむ。 俳諧紀行文「奥の細道」の面白さを、口語訳付きで購読・鑑賞する。				
到達目標	古典は難しいもの、分からないものではなく、古典は懐かしいものであり、 感情も共有できるものである。即ち、昔の人も今の自分たちも何ら変わらず、 喜怒哀楽の情と悩みを抱く生身の人間であることを思い知り、古典文学への親近感を深める。				
テーマ・講義内容					
1. 松尾芭蕉と「奥の細道」について（概観・解説）			9. 「山刀伐峠」～		
2. 「人生は旅」～			10. 「出羽三山」～		
3. 「日光」～			11. 「象潟」～		
4. 「雲巖寺」～			12. 「金沢」～		
5. 「須賀川」～			13. 「別離」～		
6. 「笠島」～			14. ～「大垣」（終着）		
7. 「末の松山」～			15. まとめ		
8. 「石巻」～					
評価方法	総合的に評価（整理考査 60%、受講状況・課題提出等 40%）				
使用テキスト	ビギナーズ・クラシックス「おくのほそ道（全）」角川書店編・角川学芸出版				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
教育学Ⅰ	藤田 泉	2単位	両学科 1年次	前期	講義
授業の概要	子どもの人間形成に教育が果たす役割を学ぶため、学校教育だけでなく家庭教育や社会教育も含めた領域の中から、 いくつかのテーマを選んで講義する。教育について広い視野から考える機会をもつと同時に教育学の基礎的な知識を 得ることを目的とする。				
到達目標	この教育学Ⅰでは、主に乳幼児期から学童期までのテーマや、異文化理解教育、教育思想、教育制度、人権と教育、 などについて学び理解する。予習課題に真摯に取り組み、授業中主体的に考え仲間と学び合う時間を過ごす。				
テーマ・講義内容					
1. はじめに（ガイダンス）：教育とは何か			9. 異文化理解教育		
2. 社会と学校			10. 教育思想		
3. 教師という職業			11. 教育と国家		
4. 家庭教育・しつけ			12. 日本の近代化と公教育制度		
5. 隠れたカリキュラム			13. 人権と教育		
6. 教育と再生産			14. 国際理解教育		
7. 学校文化			15. まとめ		
8. 発達とアイデンティティ					
評価方法	筆記試験 70%、平常点 30% 平常点としては(1)授業への参加態度（4つのマナー「①遅刻をしない、②携帯電話やスマホ等の電源を切る、 ③私語しない、④途中退室しない」を守れたか）、(2)宿題をしてきたか、(3)授業に主体的に参加できたか、 (4)授業時のミニレポートが書けたか、等が含まれる。なお、授業実施回数の3分の2以上の出席を期末筆記 試験の受験資格とするので、出席回数は自分で把握し受験資格を失わないよう注意すること。				
使用テキスト	岡田明人（編）「教育学入門」（ミネルヴァ書房、2015年） また、必要に応じてプリントを配布する。				
オフィスアワー	研究室のドアに掲示する。				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
教育学Ⅱ	藤田 泉	2単位	音楽学科 1年次 こども学科 2年次	後期	講義
授業の概要	子どもの人間形成に教育が果たす役割を学ぶため、学校教育だけでなく家庭教育や社会教育も含めた領域の中から、いくつかのテーマを選んで講義する。教育について広い視野から考える機会をもつと同時に、教育学の基礎的な知識を得ることを目的とする。				
到達目標	この教育学Ⅱでは、主に思春期以降成人期までの教育に関するテーマや多文化教育、特別支援教育等のテーマについて学び理解する。予習課題に真摯に取り組み、授業中主体的に考え仲間と学び合う時間を過ごす。				
テーマ・講義内容					
1. はじめに (ガイダンス) : 開発教育 2. 教育とジェンダー 3. マイノリティと教育 4. 障がい者教育とインクルージョン 5. 教育評価と入学者選抜 6. 道徳教育 7. 外国人児童生徒への教育 8. 文学と教育 9. 多文化教育 10. 生涯学習 11. いじめ 12. 学校における「懲戒」と体罰の禁止 13. 教育の「機会均等」と「結果の平等」 14. 高等教育のグローバル化 15. まとめ					
評価方法	筆記試験 70%、平常点 30% 平常点としては(1)授業への参加態度 (4つのマナー「①遅刻しない、②携帯電話やスマホ等の電源を切る、③私話しない、④途中退室しない」を守れたか)、(2)宿題をしてきたか、(3)授業に主体的に参加できたか、(4)授業時のミニレポートが書けたか、等が含まれる。なお、授業実施回数の3分の2以上の出席を期末筆記試験の受験資格とするので、出席回数は自分で把握し受験資格を失わないよう注意すること。				
使用テキスト	岡田明人 (編)「教育学入門」(ミネルヴァ書房、2015年) また必要に応じてプリントを配布する。				
オフィスアワー	研究室のドアに掲示する。				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
法学 (日本国憲法)	岩下 栄一	2単位	両学科 1年次	前期	講義
授業の概要	まず法とは何か、その発展過程をたどり、私たちの社会の規範についての思いを深める。 次に、国家の基本法である憲法の歴史を紐解き、その上で日本国憲法の成り立ちやその精神を明らかにし、基本原理すなわち国民主権、基本的人権、国際平和について論じる				
到達目標	現代社会と憲法の関わり合いへの理解を深め、今日に生きるものとしての常識と自覚を高める。				
テーマ・講義内容					
1. 法とは何か 法と社会規範、 法の目的、法の解釈 2. 成文法と不文法 法の歴史、法の分類 3. 基本法としての憲法とは何か 硬性憲法と軟性憲法、憲法の特質 4. 日本国憲法の基本原理 大日本帝国憲法から日本国憲法へ、憲法前文の精神 5. 国民主権と天皇 国民主権主義の意味、象徴としての天皇の地位と権能 6. 国際平和と戦争放棄 平和憲法の持つ意味、9条をめぐる議論 7. 基本的人権と法の下での平等 基本的人権とは何か、人権の歴史、法の下での平等 8. 自由権的基本権 精神の自由、身体の自由、経済の自由など 9. 社会権的基本権 生存権、教育を受ける権利、労働三権 10. 参政権的基本権 請求権的基本権 請願権、国家補償 11. 国民の義務 教育、勤労、納税、裁判員 12. 国会、内閣 国会、衆参両院の権能など、議院内閣制、内閣の組織、権能 13. 法の支配と司法権 裁判所の構成、裁判官の地位、違憲立法審査権 14. 地方自治 地方自治の原則、住民の権利 15. まとめ					
評価方法	筆記試験とレポート				
使用テキスト	毎回、レジュメを配布する。				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
教職概論	八間川 隆彦	2単位	音楽学科 2年次	後期	講義
授業の概要	教職の意義や職務・職制など教職にかかる全般的な事柄を理解することにより、教育課題について教師の立場で考える基礎的な資質・能力を養う。教育現場の具体的な事例を示しながら、教育活動の目標や内容、教員に求められる資質や能力、職務内容等を概説する。				
到達目標	教師の職責の重大さを認識し、使命感を持ち、資質能力を整え、身分や服務上の義務に従わなければならないことを理解する。				
テーマ・講義内容					
1. 教職とは何か（教育の現状と課題、教師の喜びや悩み）			9. 教師の資格（教員養成制度、教育職員免許法、選考制度）		
2. 教師の役割（教職の意義・目的）			10. 教育職員の使命と公共性		
3. 教師の仕事①（教師の一日、教育課程の編成）			11. 教育職員の服務（服務の根本基準、身分上の義務、職務上の義務）		
4. 教師の仕事②（これから求められる学力と学習指導）			12. 教育職員の勤務（体罰と事故、職務命令、身分保障）		
5. 教師の仕事③（生徒指導等の教科外教育活動）			13. 教師の信頼と不祥事（勤務の特殊性、勤務時間、休憩、給与）		
6. 教師の仕事④（学級経営、保護者との連携）			14. 学校の危機管理（具体的な事例、説明責任）		
7. 教師に求められる資質・能力			15. これからの学校と教師（社会や教育環境等の変化への対応）		
8. 教師の資質・能力の向上と研修					
評価方法	レポート2回（70%）、平常点（30%）				
使用テキスト	配布プリント（学習指導要領解説、教育関係法規、学校教育に関する各答申、学校教育に関する統計調査等）				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
教育原理	藤田 泉	2単位	音楽学科 2年次	後期	講義
授業の概要	将来学校教職員（中学校・高等学校）をめざす人が、学校教育について教育学的に理解し考える力を養う。				
到達目標	教育とは何か、学校とは何か、学校教育の内容・方法・評価とは何か、教員の役割とはどんなものか、生涯学習とは何か、等を学び、学校教育について教育的な理解ができるようになる。				
テーマ・講義内容					
1. ガイダンス			9. 学校では何を学ぶの？		
2. よい教育ってどんな教育？			10. よい先生ってどんな先生？		
3. 教育を社会の視点から考えてみよう			11. どんなふうに子どもに接したらよいのか？		
4. 子どもという存在／人間という存在			12. 子どもがよく学ぶためには？		
5. 教え方は試行錯誤されてきた			13. 学校を卒業したら学ばなくてもよいのか？		
6. 教育を受ける権利			14. 教育と学校の未来はどうなるの？		
7. 子どもの学びを支える仕組み			15. まとめ		
8. 子どものための学校ってどんな学校？					
評価方法	筆記試験 70%、平常点 30% 平常点としては(1)授業への参加態度（4つのマナー「①遅刻しない、②携帯電話やスマホ等の電源を切る、③私語しない、④途中退室しない」を守れたか）、(2)宿題をしてきたか、(3)授業に主体的に参加できたか、(4)時間内のミニレポート課題が書けたか、等が含まれる。なお、教職履修希望者は授業実施回数の5分の4以上、その他の人は3分の2以上の出席を期末筆記試験の受験資格とするので、出席回数は自分で把握し受験資格を失わないよう気をつけること。				
使用テキスト	勝野正章・庄井良信「問いからはじめる教育学」（有斐閣、2015年） また、必要に応じて補足資料を配布する。				
オフィスアワー	研究室のドアに掲示する。				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
教育相談の研究	竹下 健太	2 単位	音楽学科 3 年次	後期	講義
授業の概要	幼児期から成年期までのこころの問題について、多面的に理解をすすめる。				
到達目標	自己理解とともに教師としての基本的な対応や支援のあり方を知る				
テーマ・講義内容					
1. 心理学とは					9. ストレスと行動パターン
2. 行動分析					10. うつとバーンアウト
3. 投影法					11. フォーカシング
4. 拡散的思考					12. 紙上応答法
5. 内観法					13. アサーション
6. 自己開示					14. 呼吸法・メディテーション
7. 深層心理学					15. まとめ
8. 交流分析					
評価方法	小レポート 60%、最終レポート 40%				
使用テキスト	「ワークショップに学ぶ心理学」 創思舎（ホープ印刷（株）出版事業部）				
オフィスアワー	研究室前に掲示				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
道徳教育の研究	甲斐 克己	2 単位	音楽学科 3 年次	後期	講義
授業の概要	人格の完成を目指す教育活動において、道徳性を養う道徳教育の充実・深化と道徳の時間の指導方法の研究をする。				
到達目標	道徳教育の重要性、道徳教育、道徳の時間について認識を深める。				
テーマ・講義内容					
1. 道徳教育の歴史と変遷					9. 年間指導計画と学級における指導計画
2. 道徳教育の改定の経緯					10. 学習指導案の内容と作成
3. 道徳教育の基本的な在り方・道徳の意義					11. 学習指導の多様な展開と創意工夫
4. 社会の変化と道徳教育					12. 学習指導案作成の実際
5. 道徳教育と道徳の時間					13. 教育活動全体で行う道徳教育
6. 道徳教育推進上の基本的配慮事項					14. 道徳教育と評価
7. 4つの視点と道徳の内容					15. まとめ
8. 道徳教育の推進体制の確立と全体計画					
評価方法	筆記試験（60%）学習指導案（20%）平常点（20%）				
使用テキスト	『中学校学習指導要領解説－道徳編』（文部科学省）日本文教出版 k k				
オフィスアワー	水曜日 1 限				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
教育心理学	竹下 健太	2 単位	音楽学科 1 年次	後期	講義
授業の概要	本講義の目標は、自己理解を踏まえ、様々な教育活動について心理学的見地から捉える。				
到達目標	ヒトの発達と成長、それを支援する方法がどのようなものがあるかについて探求し、理解を深める。				
テーマ・講義内容					
1. 教育心理学とは			9. 児童期の発達		
2. 学周への行動論的アプローチ			10. 青年期の発達		
3. 学習への認知論的アプローチ			11. 教師と児童・生徒		
4. 個人差			12. 学校生活への不応		
5. 動機付け			13. 発達障害の諸相		
6. 学習過程			14. 発達障害児への支援		
7. 発達と教育			15. 教育評価		
8. 乳幼児期の発達					
評価方法	小レポート 60%、最終レポート 40%				
使用テキスト	配布プリント				
オフィスアワー	研究室前に掲示				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
発達心理学	竹下 健太	2 単位	音楽学科 1 年次	前期	講義
授業の概要	幼児期から青年期の発達の様相について多面的に捉えることにより、発達理論の理解を深める。				
到達目標	教師として、子どもや保護者に教育支援が出来るような、発達に関する知識や技術の基礎を習得する。				
テーマ・講義内容					
1. 発達課題			9. 知覚の発達		
2. 遺伝と環境			10. ことばの発達		
3. 愛着と親子関係			11. 知的機能の発達		
4. 遊びの発達			12. 社会性の発達		
5. 自己概念の発達			13. 道徳行動の発達		
6. 意欲の発達			14. 感情の発達		
7. 自己コントロールの発達			15. 発達の遅滞と臨床		
8. パーソナリティの発達					
評価方法	小レポート 60% 最終レポート 40%				
使用テキスト	図で分かる発達心理学 福村出版 (1997)				
オフィスアワー	研究室前に掲示				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
児童家庭福祉論	今吉 光弘	2単位	両学科 2年次	前期	講義
授業の概要	児童家庭福祉の理念や歴史、児童家庭福祉制度の体系や具体的な活動について理解し、児童・家庭への社会的支援に関する知識を深める。				
到達目標	児童家庭福祉の理念を理解し、我が国における児童家庭福祉制度の体系を理解することができるようになる。				
テーマ・講義内容					
1. 現代社会における児童家庭福祉					9. 児童家庭福祉の施策の現状と課題④【障がいのある子どもへの支援】
2. 児童家庭福祉の理念					10. 児童家庭福祉の施策の現状と課題⑤【児童の健全育成】
3. 児童家庭福祉の法体系					11. 児童家庭福祉の施策の現状と課題⑥【児童虐待と福祉】
4. 児童家庭福祉の実施体制					12. 児童家庭福祉の施策の現状と課題⑦【社会的養護サービス】
5. 児童福祉施設					13. 児童家庭福祉の施策の現状と課題⑧【ひとり親家庭福祉】
6. 児童家庭福祉の施策の現状と課題①【少子化と子育て支援】					14. 今後の児童家庭福祉
7. 児童家庭福祉の施策の現状と課題②【多様な保育ニーズへの対応】					15. まとめ
8. 児童家庭福祉の施策の現状と課題③【母子保健サービス】					
評価方法	筆記試験 50% レポート 30% 平常点 20%				
使用テキスト	新 保育士養成講座 第3巻 児童家庭福祉 新 保育士養成講座編纂委員会/編 全国社会福祉士協会				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
社会福祉論	柿本 誠	2単位	両学科 1年次	後期	講義
授業の概要	社会福祉は、子ども、若者、高齢者と人生のライフステージの生活を支援する学問である。保育士は人生の乳幼児期を中心に担当する専門職である。さらに、保護者や地域を支援・教育する役割も課せられている。そこで保育士が子どもから高齢者まで関わる必要について講義（ミニ演習含む）する。				
到達目標	① 子どもから高齢者までのライフステージの生活支援システムを理解する。② 人生前半の社会福祉と人生後半の社会福祉の関係性を実証的に理解する。③自分自身のライフステージを描くことができる生活力を学ぶ。				
テーマ・講義内容					
1. 社会福祉へようこそ① 私たちが生きる少子高齢化社会					9. 障がい児・者福祉① 障害のとりえ方・考え方
2. 社会福祉へようこそ② 社会福祉のとりえかた					10. 障がい児・者福祉② 障がい児・者福祉の法律
3. 社会福祉へようこそ③ ライフステージと福祉専門職					11. 地域福祉の現状（期間・団体・計画）
4. 子どもと家族の福祉① 妊娠・出産人口受精・体外受精					12. ソーシャルワークの理論と実践
5. 子どもと家族の福祉② 戸籍・親権・養育					13. 低所得者の福祉 最低生活の保障・ホームレス対策
6. 子どもと家族の福祉③ 子どもの貧困・家庭児童福祉					14. 高齢者福祉 認知症・介護保険
7. 子どもと家族の福祉④ 児童家庭福祉の法律					15. まとめ
8. 社会保障・年金・医療					
評価方法	筆記試験 100% 単位認定の際、毎回の振り返り表の考察文を考慮する。				
使用テキスト	『図解で学ぶ社会福祉』 萌文書林				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
情報演習 I	浅川 浩二	2 単位	両学科 2 年次	前期	講義
授業の概要	コンピューターの基本的な構造や OS などの仕組み、及びクラウドサービスの利用について学習する。				
到達目標	インターネットの基本となる仕組みや、PC 及びスマートフォンなどを利用した IT 技術の習得によってデジタル表現の基礎を身につけ、情報化社会におけるリテラシーを学ぶ。				
テーマ・講義内容					
1. コンピューターの基本的な構造について			9. ウェブアプリケーションを利用した画像加工の実際		
2. コンピューターの歴史と OS の構造			10. 画像加工演習 1		
3. Web メール の開設と利用法			11. 画像加工演習 2		
4. ウェブカレンダー検索技術について			12. 画像加工演習 3		
5. クラウドにおける SNS サービスの実体と演習			13. ウェブアプリケーションを利用した Office 系アプリの説明		
6. Facebook 利用法と概念の理解			14. ワード系ソフトによる制作演習 1		
7. スマートフォンを利用した撮影技術の基礎とアプリケーション			15. ワード系ソフトによる制作演習 2		
8. 画像加工の基礎知識					
評価方法	課題提出などの平常点と最終課題の成績を元に全体を評価します。				
使用テキスト	学生のためのアカデミック情報リテラシー noa 出版 (著)				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
情報演習 II	浅川 浩二	2 単位	両学科 2 年次	後期	講義
授業の概要	ブログの作成実習やエクセル、パワーポイントなどの理解と実習をベースとしてコンピュータの利用における情報の取り扱い向上を目指す。				
到達目標	情報演習 I で学んだことを基本として、インターネットの活用やオフィス系のソフトの使用方法を習得することを目的とする。				
テーマ・講義内容					
1. スマートフォンの利用における情報の拡散について			9. エクセル実習		
2. その他スマートフォンのアプリケーション実習			10. パワーポイントの基礎		
3. ブログ制作と書き込み実習 1			11. パワーポイント実習 1		
4. ブログ制作と書き込み実習 2			12. 情報リテラシーのまとめ		
5. ネット上の音楽制作ソフトについて			13. ネット上の著作権について		
6. 音楽制作実習			14. 制作実習 1		
7. エクセルの基礎			15. 制作実習 2		
8. エクセルによる図表の作成					
評価方法	課題提出などの平常点と最終課題の成績を元に全体を評価します。				
使用テキスト	学生のためのアカデミック情報リテラシー noa 出版 (著)				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
医学概論	西村 栄彦	2 単位	音楽学科 1 年次 こども学科 2 年次	前期	講義
授業の概要	生命の誕生と人類に至る進化の中で、身体の形成と脳による感情愛情の出現を学び、人生への生かし方を考える。				
到達目標	自分自身の人生への応用と教育等への活用				
テーマ・講義内容					
1. 地球の形成と生命の誕生					9. 生命の進化と人類までの道程⑧
2. 生命の進化と人類までの道程①					10. 生命の進化と人類までの道程⑨
3. 生命の進化と人類までの道程②					11. 脳の発達と文化の形成①
4. 生命の進化と人類までの道程③					12. 脳の発達と文化の形成②
5. 生命の進化と人類までの道程④					13. 脳の発達と文化の形成③
6. 生命の進化と人類までの道程⑤					14. 人類の弱点と注意点
7. 生命の進化と人類までの道程⑥					15. まとめ
8. 生命の進化と人類までの道程⑦					
評価方法	記述方式による試験				
使用テキスト	なし				
オフィスアワー	火曜 3 限				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
保健体育理論	石岡 ひろみ	2 単位	こども学科 1 年次	前期	講義
授業の概要	生涯に亘る心身の健康の保持・増進のために、健康についての理解を深める。				
到達目標	健康に関する多面的な学びから自分自身を振り返り、より健康で豊かなライフスタイルに繋がるようにする。				
テーマ・講義内容					
1. 現代生活における健康					9. 生涯に亘る健康① (援助生活)
2. 現代社会と健康① (食生活)					10. 生涯に亘る健康② (結婚・家族)
3. 現代社会と健康② (睡眠・休養)					11. 生涯に亘る健康③ (加齢に伴う変化)
4. 現代社会と健康③ (飲酒・喫煙)					12. 生涯に亘る健康④ (生涯スポーツ)
5. 現代社会と健康④ (薬物乱用・感染症)					13. 社会生活と健康① (環境問題・交通社会)
6. 現代社会と健康⑤ (メディアとの共存)					14. 社会生活と健康② (キャリア)
7. 現代社会と健康⑥ (ストレスの理解・対処)					15. まとめ
8. 現代社会と健康⑦ (コミュニケーション)					
評価方法	課題提出 40% 筆記テスト 40% 積極的な取り組み 20%				
使用テキスト	適宜、資料・プリント配布				
オフィスアワー	研究室前に掲示				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
体育実技Ⅰ	石岡 ひろみ	1 単位	両学科 1 年次	前期	実技
授業の概要	自分自身の体力を知り、全身運動・リズム運動・軽スポーツにチャレンジし、健康づくりの基礎的な実技力を獲得する。				
到達目標	各自の体力に合わせ、リズムカルに且つ積極的に運動を行う。 人格形成の見地より、仲間と協力して準備・片付けを行い、運動を通してコミュニケーション能力を高める。				
テーマ・講義内容					
1. オリエンテーション/リズム体操、グループゲーム①			9. グループゲーム④		
2. グループゲーム②			10. 軽スポーツ⑥		
3. 軽スポーツ①			11. 軽スポーツ⑦		
4. 軽スポーツ②			12. 軽スポーツ⑧		
5. 軽スポーツ③			13. 軽スポーツ⑨		
6. 軽スポーツ④			14. 軽スポーツ⑩		
7. 軽スポーツ⑤			15. まとめ		
8. グループゲーム③			*毎時、体操服・体育館シューズが必要		
評価方法	小レポート 30% 実技テスト 30% 積極的な取り組み 40%				
使用テキスト					
オフィスアワー	研究室前に掲示				

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
体育実技Ⅱ	長江 美佳	1 単位	両学科 1 年次	後期	実技
授業の概要	自分自身の体力を知り、ダンスの種類を知る。人間形成・人格形成といった視点に立ち、ダンスを通して、仲間と協力し準備・運動をしながらコミュニケーション能力を養う。				
到達目標	ダンスの基本的技術・知識を身に付け、音楽に合わせて仲間と一緒に踊り、ダンスの創作・発表ができるようになる。				
テーマ・講義内容					
1. オリエンテーション			9. 現代的なリズムのダンス 発表		
2. リズムダンス ステップ 1			10. リズムダンス ステップ 4		
3. リズムダンス ステップ 2			11. リズムダンス ステップ 5		
4. リズムダンス ステップ 3			12. リズムダンス ステップ 6		
5. 現代的なリズムのダンス ステップ 1			13. リズムダンス ステップ 7		
6. 現代的なリズムのダンス ステップ 2			14. リズムダンス ステップ 8		
7. 現代的なリズムのダンス ステップ 3			15. まとめ		
8. 現代的なリズムのダンス グループ練習					
評価方法	ダンスの習熟度など総合的に評価する。				
使用テキスト					
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
英語 I	栗林 圭子	1 単位	両学科 1 年次	前期	演習
授業の概要	大学生生活に関する身近な話題や卒業後の就職・職場、海外旅行など幅広いテーマでより実践的に英語を身につけるために、身近な語彙を増やし、発信に必要な基礎文法を確かにする。				
到達目標	日常生活の中でよく目にしたり耳にしたりする場面を、読む、聞くことができる力、また思ったことをシンプルな英語で話し、書く力を身につける。				
テーマ・講義内容					
1. Orientation / 家族			9. 交通		
2. キャンパス案内			10. 交通		
3. キャンパス案内			11. アルバイト		
4. 就職・職場			12. アルバイト		
5. 就職・職場			13. 健康		
6. 日課			14. 健康		
7. 日課			15. まとめ		
8. 交通					
評価方法	受講態度、口述試験、筆記試験などを総合的に評価する。				
使用テキスト	Make It Simple 基礎からの実践英語 著者 森田和子 高橋順子 北本洋子 出版社 三修社				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
英語 II	栗林 圭子	1 単位	両学科 1 年次	後期	演習
授業の概要	大学生生活に関する身近な話題や卒業後の就職・職場、海外旅行など幅広いテーマでより実践的に英語を身につけるために、身近な語彙を増やし、発信に必要な基礎文法を確かにする。				
到達目標	日常生活の中でよく目にしたり耳にしたりする場面を、読む、聞くことができる力、また思ったことをシンプルな英語で話し、書く力を身につける。				
テーマ・講義内容					
1. ショッピング			9. 海外旅行 (1)		
2. ショッピング			10. 海外旅行 (1)		
3. 休日			11. 海外旅行 (1)		
4. 休日			12. 海外旅行 (2)		
5. 大学生生活			13. 海外旅行 (2)		
6. 大学生生活			14. 海外旅行 (2)		
7. 世界の国々			15. まとめ		
8. 世界の国々					
評価方法	受講態度、口述試験、筆記試験などを総合的に評価する。				
使用テキスト	Make It Simple 基礎からの実践英語 著者 森田和子 高橋順子 北本洋子 出版社 三修社				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
英 語 コミュニケーションⅠ	栗林 圭子	1 単位	音楽学科 2 年次	前期	演習
授業の概要	留学の渡航から帰国に至るまでの流れを想定し、さまざまなシチュエーションでのコミュニケーションに必要な英語力を養う。				
到達目標	実践的な会話練習を中心にあらゆるシーンに対応できる英語力を身につける。				
テーマ・講義内容					
1. Orientation / On the Plane			9. Taking the Bus		
2. On the Plane			10. Taking the Bus		
3. Airport Arrival Procedures			11. Orientation		
4. Airport Arrival Procedures			12. Orientation		
5. Meeting the Host Family			13. Making Phone Calls		
6. Meeting the Host Family			14. Making Phone Calls		
7. Sharing Japanese Culture			15. Conclusion		
8. Sharing Japanese Culture					
評価方法	受講態度、口述試験、筆記試験などを総合的に評価する。				
使用テキスト	Go Global – Preparing for ESL Courses Abroad 著者 辻勢都 辻和成・Margaret M. Lieb 出版社 三修社				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
英 語 コミュニケーションⅡ	栗林 圭子	1 単位	音楽学科 2 年次	後期	演習
授業の概要	留学の渡航から帰国に至るまでの流れを想定し、さまざまなシチュエーションでのコミュニケーションに必要な英語力を養う。				
到達目標	実践的な会話練習を中心にあらゆるシーンに対応できる英語力を身につけ 自分の考えを5分程度、英語で発表する。				
テーマ・講義内容					
1. Seeing Medical Care			9. Keeping in Touch by Email		
2. Seeing Medical Calls			10. Keeping in Touch by Email		
3. Giving Presentations			11. Preparation for Presentations		
4. Giving Presentations			12. Preparation for Presentations		
5. Shopping			13. Preparation for Presentations		
6. Shopping			14. Presentations		
7. Airport Departure Procedures			15. Conclusion		
8. Airport Departure Procedures					
評価方法	受講態度、口述試験、筆記試験などを総合的に評価する。				
使用テキスト	Go Global – Preparing for ESL Courses Abroad 著者 辻勢都 辻和成・Margaret M. Lieb 出版社 三修社				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
ドイツ語Ⅰ	岩佐 銘江	1 単位	音楽学科 1・2 年次	前期	講義
授業の概要	ドイツ語を習得することは、西洋音楽を学ぶ上で、また実際の音楽の現場においても役立ちます。本講義では、簡単な会話や基本的な文法に加え、「ドイツ語と音楽」の観点から音楽作品などに触れたり、歴史・文化や人々の暮らしを知るなどして、多面的アプローチによりドイツ語の理解力・実践力を養います。				
到達目標	ドイツ語の響きに慣れ、正しい発音が出来るようになる。「聞く・話す・読む・書く」ことを通して文法を理解し、簡単な会話（挨拶や自己紹介など）が出来るようになる。				
テーマ・講義内容					
1. ドイツ語の発音、挨拶			9. 都市紹介ヴィーン、並列接続詞		
2. 自己紹介①、ドイツ語と音楽①、規則動詞			10. 買い物をする、定冠詞類		
3. 都市紹介ミュンヘン、動詞 sein, haben			11. ドイツ語と音楽⑤、不定冠詞類		
4. 自己紹介②、ドイツ語と音楽②、名詞と定冠詞			12. 都市紹介ハンブルク、人称代名詞の格		
5. 都市紹介ザルツブルク、名詞と不定冠詞			13. 場所を尋ねる②、前置詞①		
6. ドイツ語と音楽③、名詞の複数形			14. ドイツ語と音楽⑥、前置詞②		
7. 場所を尋ねる①、不規則動詞、命令形			15. 都市紹介バーゼル、前置詞③		
8. ドイツ語と音楽④、時刻の表現					
評価方法	筆記試験 60% 平常点 40% (提出物、小テストなど)				
使用テキスト	「BUMERANG Re (ブーメラン エルエー)」 小野寿美子・中川明博・西巻丈児著 朝日出版社 2,700 円				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
ドイツ語Ⅱ	岩佐 銘江	1 単位	音楽科 1・2 年次	後期	講義
授業の概要	ドイツ語を習得することは、西洋音楽を学ぶ上で、また実際の音楽の現場においても役立ちます。本講義では、ドイツ語Ⅰに引き続き、簡単な日常会話や初級文法に加え、「ドイツ語と音楽」の観点から音楽作品などに触れたり、歴史・文化や人々の暮らしを知るなどして、多面的アプローチによりドイツ語の理解力・実践力を養います。				
到達目標	「聞く・話す・読む・書く」ことを通して、初級文法を一通り理解する。語彙を増やし、正しい発音で、簡単な日常会話（注文したり、予定や体験を語るなど）が出来るようになる。				
テーマ・講義内容					
1. 買い物をする、話法の助動詞			9. 都市紹介アイゼナハ、現在完了形②		
2. ドイツ語と音楽①、従属接続詞			10. 過去を語る、過去形		
3. 都市紹介ベルリン、分離・非分離動詞			11. 都市紹介ヴァイマール、再帰動詞		
4. 注文をする、形容詞の格変化			12. ドイツ語と音楽④、zu 不定詞句		
5. ドイツ語と音楽②、形容詞・副詞の比較			13. 予定を語る、関係代名詞		
6. 都市紹介エッセン、比較の用法			14. ドイツ語と音楽⑤、都市紹介ケルン、受動形		
7. 体験を語る、動詞の 3 基本形			15. 丁寧な申し出、接続法		
8. ドイツ語と音楽③、現在完了形①					
評価方法	筆記試験 60% 平常点 40% (提出物、小テストなど)				
使用テキスト	「BUMERANG Re (ブーメラン エルエー)」 小野寿美子・中川明博・西巻丈児著 朝日出版社 2,700 円				
オフィスアワー					

科目名	担当者	単位数	対象学生	開講時期	授業形態
イタリア語 I・II	メディチ・セルセ	各1単位	音楽学科 1年次	前期 (I) 後期 (II)	講義
授業の概要	初歩イタリア語の講義同様に、指定テキストと配布プリントに沿い、聞き取り練習、読み方の練習を取り入れて授業を行ないます。小テストも実施します。				
到達目標	本講義はイタリア語に初めて接する、またはごく初歩的な知識しかない学生を対象にしています。イタリア語の発音、表記、読み方から、自己紹介、飲食店、買い物など、日常生活の様々な場面でも活用できる初級文法を学びます。				
テーマ・講義内容					
1. 表記と発音	9. 動詞の現在形の練習①				
2. 名詞の性と数、定冠詞	10. 動詞の現在形の練習②				
3. essere の活用と使い方、不定冠詞	11. 不規則動詞① (助動詞 dovere, volere, potere)				
4. 指示代名詞 questo、“～がある”	12. 不規則動詞② (動詞 andare と venire を中心に)				
5. 動詞 avere の使い方	13. 時刻の表現、時間の表現、動詞の応用				
6. 数字、曜日、いろいろな挨拶	14. 所有形容詞 mio、tuo				
7. -are 活用	15. まとめ				
8. -ere、-ire 活用					
評価方法	小テスト 20%、期末テスト 80%				
使用テキスト	らくらくマスター イタリア語<教科用>、白崎容子、アントニオ・マイツァ著、郁文堂、2000 円+税、ISBN 978-4-261-03001-3				
オフィスアワー					